読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

本州と四国を結ぶＪＲ瀬戸大橋線の利用者が、４月に３億人を突破しました。記事を読み質問に答えましょう。

瀬戸大橋線 ３億人突破 開業から36年

高松駅でイベント

本州と四国を結ぶＪＲ瀬戸大橋線の利用者が13日、３億人を突破した。1988年４月10日の開業から36年余り、１万3153日目での達成となった。

ＪＲ四国は13日、高松駅で記念イベントを開催。午後２時５分、３億人目を乗せた快速マリンライナーが到着すると、四国観光大使に任命されたばかりのＳＴＵ48・谷口茉妃菜さんと兵頭葵さんがくす玉を割って祝福。「瀬戸大橋線３億人」のロゴマークの入った巾着袋を乗客に配った。

マリンライナーに乗って婚約者と食事に来た香川県宇多津町、会社員割田伊織さん(29)は「岡山出張や故郷の長野への帰省などで年に数回使うぐらいだが、かけがえのない路線。いつかは瀬戸大橋を新幹線が走ってほしい」と話していた。

同線は開業当初の１日上下計70本から増便を続け、現在は同133本を運行している。初年度の利用客数は1074万人で、ピークは93年度の1094万人。97年11月に１億人、2009年10月に２億人を突破した。

高速道路料金の割引などを背景に10年度は720万人に減少し、その後は700万人台後半で推移。新型コロナウイルス禍の20年度は半分以下の357万人にまで落ち込んだ。23年度は688万人とコロナ禍前の９割程度に回復したが、利用客を取り戻すことが課題の一つとなっている。

（青木進一）

瀬戸大橋線利用客３億人を達成した快速マリンライナーが到着し、くす玉を割って祝うＳＴＵ48のメンバーら

2024年４月14日付、社会面

低学年もチャレンジ！

Q１

現状の乗客は新型コロナウイルス禍前の９割程度で、利用を取り戻すのが課題の一つとなっています。乗る人を増やす工夫はないかな。みんなの目線で考えてみて。

Q２

３億人突破を祝い、ＪＲ高松駅ではロゴマークの入った記念品が配られました。配られた品は何ですか。次の三つから正しいものを選び、答えよう。

①クリアファイル

②うどん

③巾着袋

Q３

瀬戸大橋線は開業時と比べて増便しています。１日の上下の運行本数は、当初から何便増えましたか。記事の中から数字を探し、計算してみましょう。

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。

過去の問題はこちらから ▶▶